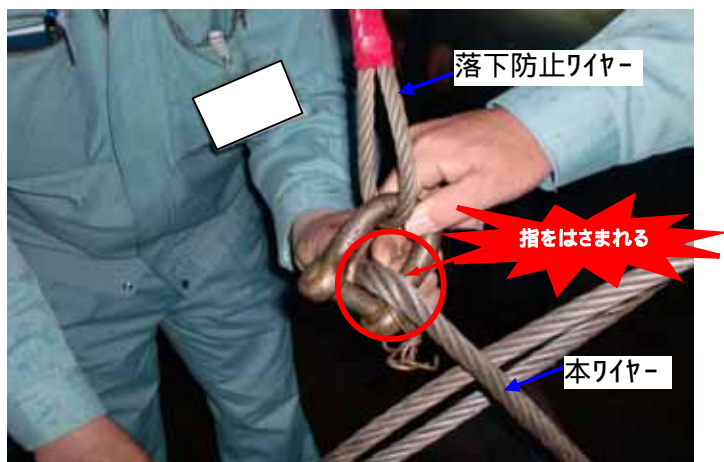


発生日時	平成 22 年 4 月 20 日 (火) 14 時 00 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	60	作業員	左手中指裂傷	
事故概要	玉掛ワイヤーとシャックルを外す作業中、オペレータがクレーンを動かし作業員が負傷したもの。				

事故発生状況



・作業員がシャックルから本ワイヤーをはずそうとしていた。
 ・クレーンのフックが作業員の頭に当たりそうだったため、オペレータが作業員の状況を確認せずにワイヤーを引き上げたところ、作業員の指が挟まり負傷した

【事故発生原因】

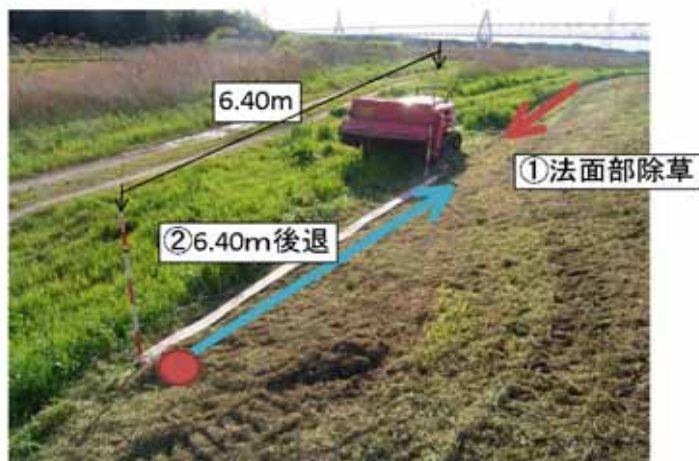
・オペレータの確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・作業前に周囲の安全確認を行う。
 ・重機の運転は誘導員の合図に従う。 など

発生日時	平成 22年 5月 13日 (木)	9時 41分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	34	作業員	左足すね部開放骨折
事故概要	ハンドガイドに搭乗して除草作業を行っていたところ、足を滑らせ転落し、キャタピラ部に左足が轢かれ負傷したもの。			

事故発生状況



平場から法面部を除草していた。平場の続きを除草しようと後退したところ、搭乗者が足を滑らせた。滑り落ちる際に、操作レバーにしがみつき、片足を地面についたときに左足が巻き込まれた。安全装置が外れず、そのまま機械はバック走行。足が巻き込まれて倒れこんだときに安全装置が働き、機械が停止。



【事故発生原因】

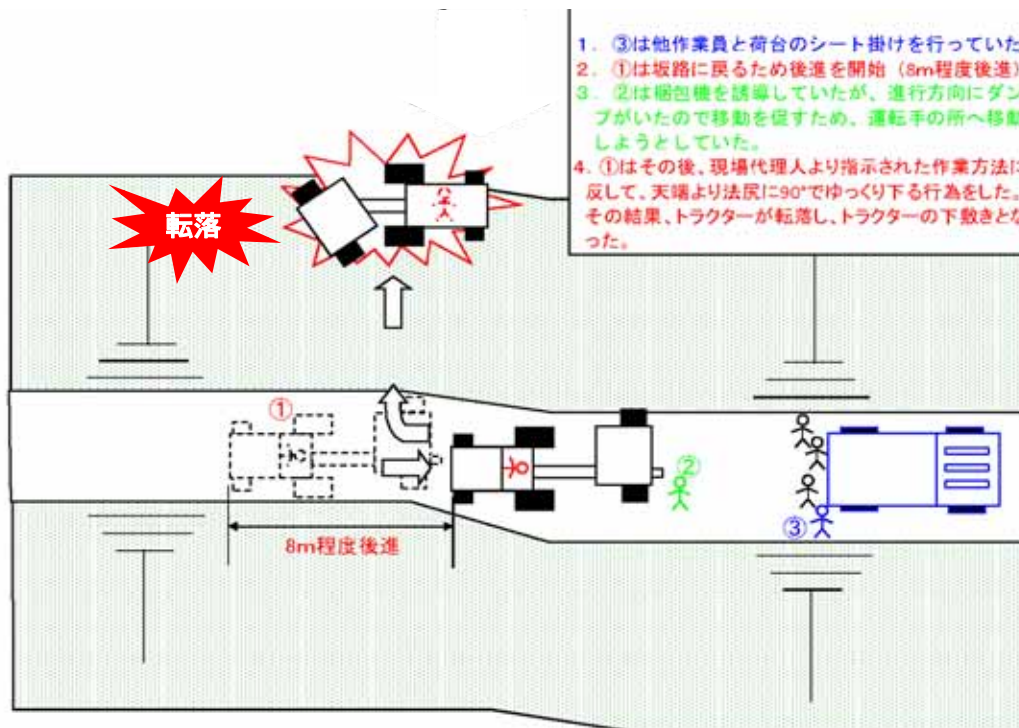
・スピードを出して後退していたため、機械の揺れが大きく、転落する原因となったため。

【事故防止のポイント】

・作業員に対して建設機械の使用方の指導・徹底。
 ・作業前に安全装置の作動点検の実施。 など

発生日時	平成 22年 7月 4日 (日) 11時 20分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	67	作業員	骨髄損傷、肋骨骨折	
事故概要	堤防天端にて集草した刈草を梱包作業中、トラクター(梱包機)が転落し、作業員が下敷きとなり負傷したものの。				

事故発生状況



・堤防天端を法尻に向け90°で下ろうとしたため、トラクターが梱包機に押されて転倒した

【事故発生原因】

・作業員が独断で天端から直角に下りようとしたため。

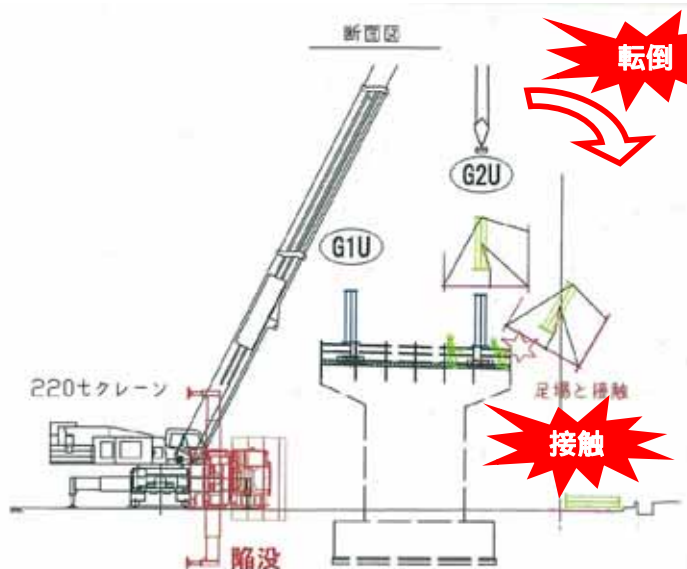
【事故防止のポイント】

・作業員に対して建設機械の使用方法の指導・徹底。

など

発生日時	平成 22年 7月 27日 (火) 10時 25分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	24	作業員	左大腿骨開放骨折	
事故概要	220tクレーンにて上部工の桁架設を行っていたところ、クレーンが横転し作業員が負傷したものを。				

事故発生状況



・220tクレーンにて桁架設を行っていたところ、**アウトリガー**が陥没し、クレーンが横転した。
 ・これにより吊荷の桁が落下し、桁下面に設置してあった足場が橋脚の上にいる作業員に接触し負傷したものを。



クレーン転倒状況



アウトリガー陥没状況

【事故発生原因】

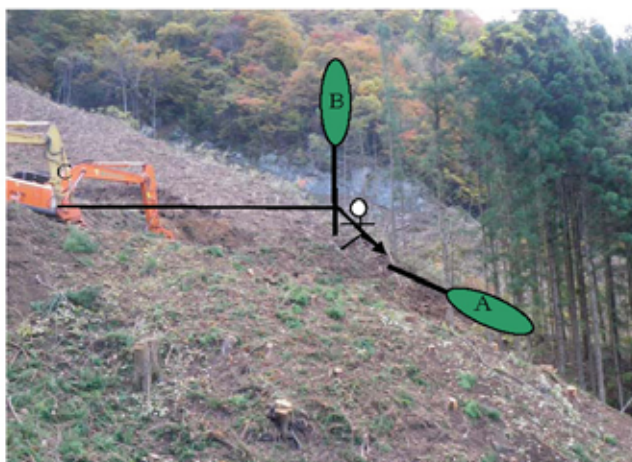
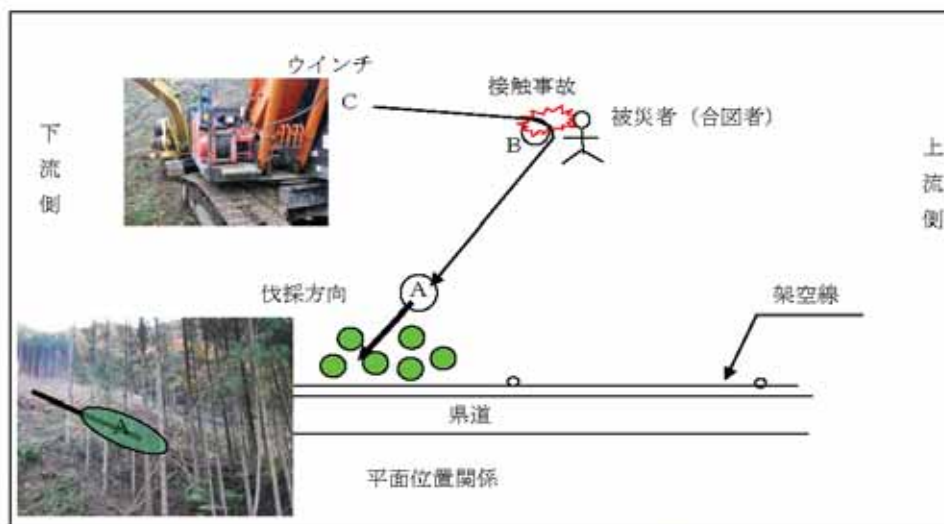
・調査中

【事故防止のポイント】

・クレーン設置箇所の地盤の状態を確認。
 ・作業前及び作業中におけるアウトリガーの状態を確認。 など

発生日時	平成 22年 11月 5日 (金)	9時 0分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	27	作業員	左母指基節骨開放性粉碎骨折
事故概要	伐採木の集積作業中に、作業員の指がワイヤーロープと木に挟まれ、負傷したもの。			

事故発生状況



・ウインチで1本ずつ引きながら伐採・集積作業を行っていた。

・すでに伐採した木が支障となるため、上部にあった木を介してワイヤーにて集材していた。

・ワイヤーの高さを調整作業中に被災者がワイヤーを握ったまま合図をしたため、ワイヤーと立木の間指が挟まり、負傷した。

【事故発生原因】

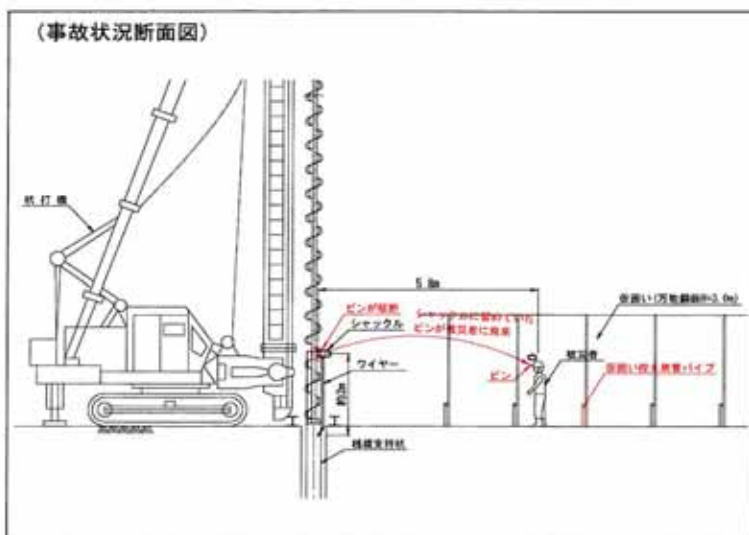
- ・動く可能性のあるワイヤーをつかんだ状態で合図を行ったため。
- ・オペレータが合図者の合図を間違えて操作したため。

【事故防止のポイント】

- ・必ず合図者が安全な場所に退避したのを確認してから操作する。
- ・事前に合図者、オペレータの間で合図等誘導方法の確認 など

発生日時	平成 22年 12月 8日 (水) 17時 5分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	22	作業員	頭蓋骨骨折・頭部裂傷	
事故概要	杭を引き抜く際に、ワイヤーロープを連結するために使用したシャックルのボルトが破断して飛来し、作業員に当たって負傷したものの。				

事故発生状況



・支持杭工において支持杭建込み作業中、杭が高止まりしたため、クローラークレーンで引き抜き作業を行っていた。

・クレーンで引き抜けなかったため、杭打機のオーガーのウインチにて相吊しようとしたところ、スクリュウに取り付けたシャックルのピンが破断して飛来し、被災者の頭部に衝突し骨折する。

・衝突の衝撃で被災者が転倒した際、置いてあった単管に接触し頭部を裂傷。



【事故発生原因】

- ・杭が引き抜けなかったため、下請の独断で作業手順を変更し、杭打ち機のウインチを使用して作業した。
- ・シャックルを誤った方法で使用した。など

【事故防止のポイント】

- ・不測の作業が発生した場合は、元請を含め作業関係者間で作業方法、安全対策等を確認して作業する。
- ・作業方法に応じた使用機械を選定するとともに、用具類は適切な方法で取り扱う。など